

# マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース(※)の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校で一年間を過ごす研修。研修期間中の概ね半分は自治大学校の実務に従事、半分は通常の研修(第1部課程等)を履修することによって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

自治大学校に赴任してあっという間に9月、まだまだ暑い日が続いています。地元を離れる際に、一回りも二回りも小さくなって帰ってくると宣言したとおり5kgの体重を減らすことに成功しました。まだまだこれからです。

## 【仕事面】

マネジメントコース研修生の仕事は、研修期間の半分を自治大学校の実務に従事します。私の場合は10月中旬までは自治大学校の実務に従事し、10月中旬からは第1部課程の研修生として自治大学校での研修を受講します。

私は教務部で第3部課程第113期の課程運営を担当しました。研修課程運営期間中はめまぐるしい日々で、研修が始まったと思ったら終わっていました。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類にはなりましたが、研修期間中に感染した研修生が数名、自室からリモートでの受講、談話室の使用制限など、研修生の皆さんには交流の場が制限され不自由な思いをしたかと思えます。

## 【生活面】

自治大学校で痩せるという無謀な目標を立て、赴任してすぐはトレーニングルームでの運動と自治大学校の周辺をランニングするなど頑張っていました。課程運営が始まる前の6月頃から完全にサボってしまっています。

休日の過ごし方ですが、趣味のバイクにこちらでは乗れませんが、代わりに自治大学校貸出の自転車で立川ツーリング(買い物)ができます。立川駅周辺にはたくさんの店もあり、生活で困ることはほとんどありません。

中央線沿いや、東京にはクラフトビール醸造所がいくつもあるので、回ってみたいと思っています。せっかく東京にいるので、ここでしか経験できないことを経験したいと考えています。そして、一見仕事とは関係ない経験でもその経験がいつか偶然何か仕事のアイデアに繋がることもあると信じています。

地元に残してきた家族と離れ1年間自治大学校で過ごすことは、家族と互いに寂しい思いや苦労、大変な思いをします。それでも自治大学校に送り出してくれた家族には感謝しかありません。ここでの1年間はあっという間かもしれませんが、この自治大学校での一期一会の出会いや、残りの期間の一日一日を大事に過ごしたいと思えます。(T. M)



クラフトビール飲み比べ



学校敷地内のカモ(子ガモ見られなくて残念)